

紀の川

和歌山市管工事業協同組合



URL <http://www.w-kankoji.com>
 E-mail: wakayama@w-kankoji.com

片 男 波

奈良・平安の昔から、歌人に愛された景勝の地「和歌浦片男波」は、古代人のロマンを求めて「紀の国万葉めぐり」の地として多くの風光美が詠まれているところである。

不老橋、観海閣、片男波公園は歴史的景観の地として、癒しの地として和歌山市民はもとより、この地を訪れる人々に感動を与えています。

目次

総会のご挨拶	1
第63回通常総会を開催	2
第63回通常総会議事録	3
平成21年度新組織表	4
役員会報告	5
組合の動き	8
青年部の動き	9
雑学の泉	12
会社訪問	13
趣味のコーナー	14
編集後記	15

第63回 通常総会 開催

和歌山市管工事業協同組合の通常総会が平成21年5月28日に、開催されましたので、総会特集としてご報告をいたします。



総会のご挨拶

理事長 小向俊和
（株）小向商会

理事長の小向でございます。

組合員の皆様には、ご多忙の中第63回通常総会にご出席を賜わりまして、誠にありがとうございます。

この一年間を振り返ってみますと、大変変化の激しい一年間でありました。昨年の春まで、回復基調にあると云われていました日本経済も、アメリカ発のサブプライムローン問題が、大きな影響を与えています。政府与党は予算面をはじめ、種々の景気回復策に取り組んでいますが、未だ底が見えてこないのが現状です。さらに、新型インフルエンザが経済活動にも大きく影響する可能性が、懸念されます。

当業界にとりましても、公共工事をはじめとして、建設投資の大幅な減少、少子高齢化による人材不足、後継者不足等により組合員数が減少傾向にあり、誠に寂しい限りであります。

このようにきびしい環境下ではありますが、組合事業活動におきましては、ほぼ計画通り展開することが出来ました。新規事業であります「宅内メンテナンス斡旋事業」も、何とか今年4月1日より発足することが出来ました。収支決算につきましても、予定どおりの決算となりました。これもひとえに、組合員の皆様のご協力の賜と、厚く感謝申し上げます。

新年度の事業計画では「3階直結給水方式」への斡旋事業と、和歌山市との災害協力協定を、より有効なものにするため「災害対策マニュアルの制定」を新規事業として、提案させて頂いています。本通常総会が、実りある総会として終了できますことを祈念し、開会のあいさつとさせていただきます。

第63回 通常総会を開催

去る5月28日(木)和歌山東急インにおいて、通常総会が開催されました。当日は、ご多忙にもかかわらず組合員定数105社中63社(内委任状出席16社含む)のご出席を頂きました。

総会では中谷晃也副理事長〔東和冷機(株) 代表取締役〕の司会で定刻に始まり、小向俊和理事長〔(株)小向商会 代表取締役〕の挨拶(別記記載)の後、和歌山市長を始め頂いた祝電の披露、物故者への追悼では、故山口和夫氏〔山口工業 代表者〕に、会場の全員で黙祷を捧げました。

総会の議案審議は、全議案が原案どおり可決・承認されました。(総会の議事録・新組織のご紹介は後のページに掲載)

全部の議案の審議を終えて、第63回通常総会は終了致しました。



懇親会 開催

通常総会の終了後、ホテル東急インにて、ご来賓、組合員、事務局を交えて懇親会が開催されました。

平岡卓治理事〔平岡ポンプ水道店 代表者〕の司会で懇親会が始まり、小向理事長の挨拶、ご来賓各位の紹介の後、水道局工務部部長 西川芳次氏と組合顧問の市議会議員和田秀教先生からご挨拶を戴きました。

ご出席戴いた来賓の方々のお名前

和歌山市水道局

工務部部長	西川芳次様
工務部給水課課長	福田幸二様
和歌山市議会議員	和田秀教様
相談役 (株)大昌商会会長	山本昌彦様

石橋洋二理事〔(有)石橋工務店 代表取締役〕の音頭による乾杯の後、永年勤続表彰式が開催され、濱本事務局長から平成21年度の被表彰者6名の紹介があり、本日出席の受賞者に小向理事長より永年勤続の功がたたえられ、表彰状と記念品が贈呈されました。

最後に、湯川幸司理事の音頭で全員での万歳三唱の後、濱本事務局長の閉会の挨拶を以って懇親会の幕を閉じました。



平成21年度 永年勤続被表彰者

梅本佳延 (有田住宅設備(株))
 梅本英法 (有田住宅設備(株))
 小西正司 (有田住宅設備(株))
 寺本次郎 (鍛冶寅鉄工所水道部)
 湯川憲明 (カネイ設備工業(株))
 乙井克己 (株)小向商会

第63回 通常総会議事録

1. 開催日時及び場所

平成21年5月28日(木)午後3時30分
和歌山東急イン

1. 理事・監事の数及び出席理事・監事の数並びにその出席方法

理事定数10名中出席理事10名
監事定数2名中出席監事2名

1. 組合員数及び出席者数並びにその出席方法

組合員数105名中 本人出席47名
書面委任16名

1. 議長の氏名 西岡廣秋

1. 議長選任の経過

定刻午後3時30分、中谷晃也副理事長が司会者となり第63回通常総会の開会を宣す。小向理事長の挨拶後、祝電の披露がなされ、司会者より出席組合員に議長選任を諮る。満場一致で司会者一任となり、(有)西岡水道店 代表取締役 西岡廣秋氏を指名し、議長就任に至る。議長より就任挨拶後、過去1年間の組合員代表者逝去氏名が報じられ、全員でご冥福を念じ黙祷を捧げた後、定款第41条に基づく定足数確認による総会の成立を宣し、直ちに議案審議にはいる。

1. 議案審議の経過・要領及び議案別の議決の結果

第1号議案 平成20年度事業報告並びに決算・剰余金処分案承認の件

議長より、濱本理事に提案説明を求め、濱本理事より第1号議案の提案と詳細説明を議案書に基づき平成20年度事業報告及び決算内容を事業報告書、損益計算書、貸借対照表、財産目録等により各々報告、詳細説明後、続いて剰余金処分案

の説明がある。次いで、鉄羽監事、中山監事兩名を代表して中山監事より

1. 監査の方法について、会計に関する帳簿、書類を閲覧し計算書類について検討を加え、必要な実査、立会、現物照合及び理事からの報告の聴取その他相当な方法を用いて調査した旨の報告。
2. 監査結果の意見として(1)財産目録、貸借対照表、損益計算書は法令及び定款に従い、組合の財産及び損益の状況のすべての重要な点において、適正に表示しているものと認める。(2)剰余金処分案は法令及び定款に適合しているものと認める旨の報告。

議長より第1号議案を議場に諮ったところ、他に質問意見もなく議長より採決を求めたところ、原案どおり満場一致で可決される。

第2号議案 平成21年度事業計画案並びに予算案承認の件

議長より、濱本理事に提案説明を求め、濱本理事より第2号議案の提案があり、議案書に基づき平成21年度事業計画案並びに平成21年度予算案の提案説明がある。詳細説明後、議長より第2号議案を議場に諮り、原案通り満場一致で、可決される。

第3号議案 組合の借入金残高の最高限度額を定める件

議長より濱本理事に提案説明を求め、濱本理事より提案説明後、議長より第3号議案を議場に諮り、満場一致で原案通り前年同様1億円の承認を得、可決される。

第4号議案 役員選挙の件

議長より現役員全員が当第63回通常総会の終結時をもって任期満了となりますので、定款第32条に基づき選挙を行う旨

を告げる。役員の数、定款第25条並びに第27条の定めにより、理事の定数を10名（内員外理事1名）とし、監事については2名とする旨告げる。議長より選挙の方法について議場に諮ったところ、ウジタ設備工業(株)の宇治田芳弘氏より、第61回通常総会で多くの役員が退任され、大幅に役員が交代されたので、この厳しい情勢下でもあり、現体制で引き続きこの2年間引受けて頂くのが最良ではないかとの提案があり、議長より議場に諮っ

たところ、満場一致で可決、決定。

審議後、他に意見もなく議長は議案審議の終了を宣し、第63回通常総会の閉会を告げた。

尚、後日開催された理事会において理事長、副理事長が選任されました。又、同時決定された新組織体制は次のとおりです。

平成21年度 新組織表

執行機関

担 当	担 当 理 事 名
○総 括	◎小向理事長
○総務・人事担当	◎中谷副理事長 濱本理事、山本理事
○渉外担当	◎西岡副理事長 石橋理事、湯川理事、中村理事
○企画担当	◎石橋理事 鉄羽監事、濱本理事
○講習会担当	◎西岡副理事長 平岡理事、寺本理事
○共同受注担当	◎濱本理事 湯川理事、中村理事
○災害対策担当	◎湯川理事 西岡副理事長、石橋理事
○メンテナンス事業担当 3階直結給水幹線事業担当	◎西岡副理事長 寺本理事、中山監事
○青年部担当	◎平岡理事 石橋理事、平岡理事
	◎中村理事、寺本理事

委 員 会 名	委 員 名
○共同受注委員会	◎濱本理事 ○西岡副理事長、湯川理事 石橋理事、平岡理事
○共同受注事業企画・調整委員会	◎西岡副理事長 ○湯川理事、石橋理事 平岡理事 高橋、保田、中原
○共同受注工事検査委員会	◎高橋 ○玉井、保田、中原 松村
○労働安全衛生協議会	◎石橋理事 ○平岡理事、湯川理事 高橋、保田、中原
○紀の水編集委員会	◎濱本理事 ○平岡理事、山本理事 白井万佐也、田中光一郎 高橋伊、玉井

氏名の前の ◎印は委員長 ○印は副委員長

役員会報告

3月度 定例役員会

- 1. 開催日時 平成21年3月11日(水) 午後5時30分より
- 1. 開催場所 役員会議室
- 1. 役員定数 理事8名、監事2名
- 1. 出席役員 理事8名、監事1名

議事の概要は次のとおり

第1号議案 次年度(平成21年度)事業計画(案)について

議長の命により事務局長から、次年度の事業計画(案)について、前年度の事業計画に加え①3階直結給水工事の宣伝、幹旋事業の展開、②災害対策マニュアルの制度を加えたい旨提案、意見を求めたところ、全員賛成にて可決。

第2号議案 平成21年度、上工水給配水管修繕及び改善工事、上工水量水器取替工事の参加規定について

議長の命により事務局長から、共同受注企画調整委員会の審議、決定内容に基づき別紙により提案、審議の結果全員賛成にて可決。

第3号議案 平成21年度、諸会議等、主要日程について

議長の命により事務局長から、別紙により次年度の定例役員会、通常総会等の日程について提案、全員異議なく賛成にて可決。

第4号議案 運転資金の借入れについて

議長の命により事務局長から、収入面では、受注工事の本格稼働が6月以後となり支出面では、通常総会費用をはじめ納税資金等出費がかさむ為、運転資金として3,000万円借入れ調達したい旨提案、了承を求めたところ、全員異議なく賛成にて可決。レート等借入れ条件は、事務局長に一任することも合せて了承した。

報告議題

事務局長より下記の項目について報告があり、全員異議なく了承した。

1. 平成21年度各種講習会日程について
 - 建設災害防止協会(4月～7月)
 - 労働基準協会(4月～5月)
2. 貯水槽清掃作業監督者・排水管清掃作業監督者講習会について
3. 1、2級土木施工管理技術者検定について
4. 「地震等緊急時対応の手引き(日本水道協会)制定について
5. 組合員の異動について
 - 任意脱退 雪野設備 代表者 雪野和道

4月度 定例役員会

- 1. 開催日時 平成21年4月14日(火) 午後5時30分より
- 1. 開催場所 役員会議室
- 1. 役員定数 理事10名、監事2名
- 1. 出席役員 理事9名、監事1名

議事の概要は次のとおり

第1号議案 平成21年度、上工水給配水管修繕及び改善業務委託工事・上工水量水器検定満期取替委託工事の契約について

議長の命により事務局長から、標記についての水道局との契約内容について別紙により承認を求めたところ全員異議なく賛成にて可決。

第2号議案 平成21年度、上工水給配水管修繕及び改善業務委託工事・上工水量水器検定満期取替委託工事における、理事の参加(自己契約)の承認について

議長の命により事務局長から、標記の工事参加の承認について、当該理事を除いて、それぞれ承認を求めたところ、全員異議なく賛成にて可決。

第3号議案 水道局メーター検針票への広告掲載について

議長の命により事務局長から、検針票への広告掲載について、別紙により提案、全員賛成にて可決。

第4号議案 平成21年度、役員改選における理事及び監事の定数について

議長の命により事務局長から、定款第25条(理事の定数)及び第27条(員外理事)により、理事の総数10名(内員外理事1名)、監事の定数を2名とする旨を提案、全員賛成にて可決。

報告議題

事務局長より下記の項目について報告があり、全員異議なく了承した。

- 1. 平成21年度、公共工事設計労務単価について
- 2. 平成21年度、水道施設整備費国庫補助事業に係る歩掛改訂内容について
- 3. 平成21年度、入札契約制度の改正について
- 4. 平成21年度、1、2級管工事施工管理技術検定試験について
- 5. 産業廃棄物収集運搬課程の講習会(新規・更新)の開催について
- 6. 平成21年度、車輛系建設機械等の講習会日程について
- 7. メンテナンス業務斡旋事業の参加組合員数について
- 8. 平成21年度、建設経理士及び経理事務士の資格取得について

5月度 定例役員会

- 1. 開催日時 平成21年5月12日(火) 午後5時30分より
- 1. 開催場所 役員会議室
- 1. 役員定数 理事10名、監事2名
- 1. 出席役員 理事10名、監事1名

議事の概要は次のとおり

第1号議案 平成20年度、事業報告並びに、決算・剰余金処分(案)承認の件

議長の命により事務局長から、別紙により詳細説明があり、意見を求めたところ、全員異議なく賛成にて可決。

第2号議案 平成21年度、事業計画(案)並びに予算(案)承認の件

議長の命により事務局長から、別紙により、提案、説明があり、審議の結果、全員原案どおり賛成にて可決。

第3号議案 平成21年度、組合の借入金残高の最高限度額を定める件

議長の命により事務局長から、前年どおり1億円で、通常総会に諮りたい旨提案。全員賛成にて可決。

第4号議案 通常総会当日の役割分担について

議長の命により事務局長から、通常総会当日の役員の役割分担について、別紙により承認を求めたところ、全員賛成にて可決。

第5号議案 平成21年度、永年勤続被表彰者の決定について

議長の命により事務局長から、組合員事業主に推薦を受けている被表彰者を別紙により提案、承認を求めたところ、全員異議なく6名の被表彰者を決定。

第6号議案 組合職員の人事問題について

議長の命により事務局長から、組合職員の処遇について、現下の諸情勢を考慮して対応したい旨、提案。全員異議なく賛成にて可決。

報告議題

事務局長より下記の項目について報告があり、全員異議なく了承した。

1. 各種講習会の開催について (労働基準協会)
2. 各種出張特別試験 (近畿安全衛生技術センター) の開催について



組合の動き

和歌山県知事表彰 受賞 ～理事長 小向俊和氏～



各界の受賞された皆様方とともに(前列右から4人目)

去る5月28日、ホテルグランヴィア和歌山において、和歌山県知事表彰を県知事仁坂吉伸氏から、当組合の理事長 小向俊和氏〔株小向商会〕が受賞しました。今回の受賞は、和歌山県管工事業協同組合連合会会長として、受賞されたものです。

和歌山県において、商工業の振興発展など、各分野での功績の優れ、県行政の向上や発展に貢献された方々に贈られる県知事表彰です。

小向氏は、30余年に亘り給排水設備、空調設備、電気設備など建築設備の設計施工に携わり、現在株式会社小向商会の代表取締役を務めています。その間、経済の成長と変動を経験、各分野の技術の革新と進歩により国民の生活環境も向上する中、建築設備への多様化された要請に、卓越した見識と経験をもって、社内体制の

構築と技術力を強化により、万全な施工で高品質での納品実績を上げています。

また、小向氏は和歌山県管工事業協同組合連合会では副会長・会長、和歌山市管工事業協同組合では、副理事長・理事長を10余年務めています。県連合会・市組合の事業で、会員のために政府の業界関連施策情報提供、業界に要請される資格や技能、IT関連、労働安全衛生、現場監理等々の講習会を企画・開催に力を注ぎ、結果業界の人材の育成、技術の継承と向上を図り、和歌山県の管工事業界の発展と施工品質の向上に貢献し、このような功績が今回の受賞に繋がりました。

小向理事長、県知事表彰の受賞おめでとうございます。理事長には、これからも、私たち組合へのお力添えをお願いしますとともに、より一層のご活躍をお祈りいたします。

青年部の動き

「青年部第14回通常総会開催」



総会(組合本部三階)

青年部の第14回通常総会が、去る6月13日(土)午後6時から、組合本部3F会議室において開催されました。

当日は、中口幹事〔ヤスキ水道設備〕の司会で進行し、議長には齊藤幹事〔伸紀建設〕が選出されました。平成20年度事業報告並びに決算報告、続いて21年度事業計画(案)並びに予算(案)が審議され、全議案が原案どおり承認されました。また、中村会長〔宍東和下水道工業所〕の任期満了に伴い役員改選が行なわれ、新会長に前副会長の宇治田芳弘氏〔ウジタ設備工業株〕が選任され就任いたしました。

昨年と比べてみても、青年部の会員数は減少せず維持できていることは良いことなのですが、総会を含め事業への会員の参加が減少してきているのが寂しい現況です。今後は、従来からの継続事業を中心に会員間の交流を第一に考えた事業

も展開していきたいと考えていますので、青年部会員の多数のご参加ご協力をお願い致します。

総会終了後の懇親会は、場所を移して市内のレストランで開催されました。親組合理事の方々にも出席をしていただき、中井副会長〔株三田設備工業〕の司会で進行、濱本事務局長の乾杯の発声により始まりました。途中、この総会により青



懇親会風景

年部を卒会となりました湯川理事 [湯川水道工業所] からのご挨拶、青年部宇治田新会長の就任のご挨拶などもあり、楽

しい時間を共有いたしました。

青年部の新体制が決まりましたのでご報告いたします。

青年部新役員

会 長 宇治田 芳弘 [ウジタ設備工業(株)]

副会長 中井 啓仁 [株三田設備工業]

副会長 中山 清誠 [株中山建設]

会 計 植 野 誠 [小佐田興業]

幹 事 池 田 直 仁 [I.K.Dイケダ設備サービス]

幹 事 齊 藤 孝 幸 [伸紀建設]

幹 事 中 口 泰 樹 [ヤスキ水道設備]

幹 事 中 村 伸 行 [中村設備工業(株)]

幹 事 藤 本 真 司 [株藤本水道]

監 事 森 田 大 介 [森田鉄建(株)]

監 事 杉 山 勤 [南ロータリーサービス]



就任のご挨拶

青年部新会長 宇治田 芳弘
[ウジタ設備工業(株)]

青年部第14回通常総会で、青年部会長に選任されました宇治田芳弘です。経済情勢をはじめ、業界をとりまく環境は誠に厳しいものがありますが、親組合をささえ誠心誠意努力してまいりたいと思いますので、前任の中村会長同様よろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

私は、青年部に入会させて頂いて10余年になりますが、歴代の会長の実績を手本に精一杯頑張ろうと思っております。青年部がここまで活動を続けられたのも、ひとえに小向理事長はじめ親組合のご理解・ご協力、又は組合職員のお手伝いなど言葉に出来ないくらい感謝してお

り、この場を借りて青年部の代表として厚くお礼申し上げます。

また今年も引き続き各継続事業の充実や見直しを図るとともに、全国管工事業協同組合青年部協議会（全管連青年部）への参加や交流なども深めていき、青年部として出来ることをみんなと一緒に考え、行動に移して行きたいと思っております。

これからも、青年部一同の若い力を結集し、管工事業界を支えられるよう力を合わせより一層頑張っていこうと思っておりますので、今まで以上にご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

水道週間 ～おいしいね この水未来 いつまでも～



今年も、厚生労働省主催による第51回水道週間が実施されました。

組合青年部も例年の事業として、水道週間の初日（6月1日）に、南海和歌山市駅前・県庁前・市役所北側にて、当組合の名が入った、チラシ・ティッシュを市民の皆さんに配布しました。

この水道週間とは、水道について市民の理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るための行なわれ、毎年6月1日より実施されています。

本年の水道週間スローガンは、「おいしいね この水未来 いつまでも」でした。

青年部4単組交流会が開催されました!

京都、神戸、和歌山の近畿圏の三つの青年部組織により近畿交流会が毎年開催されています、本年度は和歌山での開催でしたが、今年から名古屋市の青年部も加わって青年部4単組交流会になりました。

4月4日に和歌山ラウンドワンに各青年部が集合、豪華景品を狙ってのボーリング大会、優勝は今期 全管連青年部協

議会の新会長に就任された加藤君（←京都の身体が大きくおもしろい人材です。）、レーン賞も加藤君のレーンが高スコアでごっそりと賞品を持ってかえりました。

懇親会は青年部おなじみの「めんどり亭」で開催され大盛り上がり、ここでお開きとなりましたが、はたして何次会まで?・・・これも青年部のパワーですね。

次回開催地は名古屋市とのことです!



ROUND1での記念撮影



手を合わせる四青年部の会長たち



～バーチャルウォーターって!～ 水を輸入する国 日本??

今年の梅雨も雨が少なく、この夏も節水の季節になりそうです。

雨は海の上で十分降っているのですが、海の水は使えないですよ。水の惑星といわれる地球は地表の70%を海が占めています。私たちが利用できるのは河川水、淡水湖、浅い地下水などで全体の水の量の1%もありません。

日本で水不足といえば、夏の水不足のことを考えますが、異常気象や人口増加、工業の発展などから世界的に慢性の水不足になってきています。

この間テレビでバーチャルウォーター(仮想水)について放送していましたが、日本は大量の水を輸入しているということでした。

バーチャルウォーターというのは、外国から輸入している農畜産物や工業製品を、もし国内で生産するとすれば必要になる水のことで。

東京大学生産技術研究所の沖 大幹教授等のグループが試算した結果によりますと、たとえば小麦1kgを作るのに2,000ℓの水が必要です。大豆では2,500ℓ、トウモロコシは1,900ℓとなっています。同じ1kg当たりで鶏肉は4,500ℓ豚肉では5,900ℓ、牛肉の場合は20,700ℓもの水が必要ということです。牛肉100gの後ろには2,000ℓの水が隠れているということです。

私たちの口に入る形で見てみると、ハンバーガー1個999ℓ、牛丼1杯1,889ℓ、コーヒー1杯210ℓ、ビールは1杯113ℓとなっています。

牛丼を1杯食べてコーヒーを(ビールでも)1杯飲むと浴槽1杯分あるいは2tの受水槽1台分のバーチャルウォーターを消費していることになります。

農畜産物名	バーチャルウォーター (ℓ/Kg)
小麦	2,000
大豆	2,500
トウモロコシ	1,900
鶏肉	4,500
豚肉	5,900
牛肉	20,700

食料自給率が40%という日本は、60%の食料を輸入に頼っているわけですが、このなかに含まれるバーチャルウォーターの年間輸入量は640億ℓにもなり、国内の総水資源使用量900億ℓの3分の2以上の水を海外に頼っていることになります。

コンビニやファーストフード店では賞味期限切れでたくさんの食料が廃棄されています、また、家庭でも食べ残し等が多いと思いますが、その後ろに隠れているバーチャルウォーターの量を考えると怖くなってきます。もったいない、もったいない。



会社訪問



おじゃマンⅡ号の
儲かりまっか!
大演



株式会社 藤本水道

和歌山市杭ノ瀬18-4

会社概要

代表者 藤本真司(マサシ)
昭和55年10月10日生 29歳

創業 昭和44年
前社長 藤本雅弘氏が設立
平成8年に株式会社藤本水道に組織変更

工事概要 本管布設工事・給配水管改善工事・
給排水設備工事(公共工事が多い)

家族 妻・子供(女4ヶ月)

おじゃマンⅡ号の「もうかりまっか!会社訪問」は、今年7月に、新社長に就任されました元?、現?の若き「アロチの帝王」こと、藤本真司新社長に電撃インタビュー。

おじゃマンⅡ号:

「新社長、就任おめでとうございます。それに新婚ホヤホヤらしいですね。従業員の方も若い人が多いですね。」



藤本真司新社長

社長:
「おおきに、昨年結婚したばかりで、子供も生まれまし、会社のみんな(従業員15名、平均年齢20代、ちなみに男、男、……)に応援してもらいながら、頑張ります、「やる

気、あるのみ」が僕のモットーですから!」

おじゃマンⅡ号:

「従業員さん若いし、本管工事含め、仕事量かなりできますねー。」

社長:「そーやなー、景気やらいろいろ大変な時やけど、みんな頑張ってくれてるしなー、ただな、現場の横、《べっぴん》が通ると仕事がストップするんが、なんぎなんやー(それって社長?)」

おじゃマンⅡ号:

「仕事もいろいろ忙しそうですけど、休みの日とか、平日の夜とかは、どうしてます?今晚も「青年部の会議」とか言ってません?」

社長:

「今も昔も「まじめのマサヤン」で通ってるのに、独身の頃から釣り(イカ釣りが多い・船舶2級も取りました)に行ったり、草野球のチームにも入っているし、最近は組合の青年部のイベントにも皆なつれていかんならんし、そやけど今は、娘も生まれまし、家庭サービスが第一やな、子供も好きやし、野球チームできるほどほしいし。」

おじゃマンⅡ号:

「なーーるほど、社長、管工事組合新記録に挑戦ですね。(ちなみに管工事組合最高記録は、8人・現役では5人・Y水道—2009年7月現在。)」

社長:

「「やる気、あるのみ」や、頑張ります。管工事組合さん「子育て支援」よろしく。」

趣味のコーナー
**ひちゃんの
 何と!**
驚きました
陸海空編



鎌田義博社長

ひちゃんの何と驚きました。2009年夏号は、師匠かまちゃんの『釣りバカ日誌シリーズ-加太の鯛編』です。師匠「かまちゃん」事、鎌田義博社長（鎌田工業所 和歌山市延時46-8 昭和19年1月6日生 65歳）に登場してもらいましょう。

ひちゃん：師匠 明石の鯛より加太の鯛ですねーおいですねー、めばるの煮付けに奥さんのさばの生酢鮓最高ですねー。それにしても、師匠、釣り暦長いんですか？

社長：紀南の生まれやし、若い頃から釣りが好きやった、船も持つとった、今も「つれ」と共同で、持ってる、ここ10年ぐらいは、ゴルフの付き合いが多くて行けんかったけど、年金もらうようになったんで、釣り三昧やな。

ひちゃん：釣りに行くのは加太の海が多いんです？

社長：あっちこっち行ったけど、今は、加太の鯛が本命やな、船を置いてる都合もあるけど、潮の流れとか、釣るポイントやら、釣り方やら、知らんとそう簡単につれるもんやないさかな、魚との格闘というより駆け引きやな。

奥さん：うちのお父さん、毎日晚酌しながら釣り道具さわってるわー、おかげでおかずには、困ったことないんよー、近所に配るの忙しいほど釣ってくるわー。

ひちゃん：師匠釣り方とか仕掛けとか教えてください、それに鯛の他には、どんな魚釣れるんです？

社長：今は、手釣りで、餌は、疑似餌やな、この疑似餌作るんが、おもしろいと言うか、駆け引きなんや、毛糸や、ビニールのひもやら使っ

て作るんやけど、まーイカや小魚に、見せかけるんやけど、その日の天気というか、海の色に合わせて疑似餌の色も替えるんやで、朝も3時に起きて、10時頃までが釣れるチャンスやな、手釣りちゅうても針を水深30~40m降ろして上げたり降ろしたりして疑似餌をイカや小魚が泳いでるように見せやなあかんから腕も疲れんやで、釣果のほうは、鯛に、鯖、鯆、イサギ、ハマチ、今はメバル、サワラ、スズキかな、トラフグも釣ったなー、最近は、温暖化の関係かなー、黒鯛もおるし、テレビでやってる大間の鯛みたいなん、2~3m以上（胴高1m近い）はあるなー、それが飛び跳ねるんやから、迫力あるでー、さすがに見てるだけや、これも地球温暖化の影響やな、魚も年々変わりつつ、減りつつあるように思うな。海の水も水道の水も大切な資源やな、それに何て言っても、釣り終わってからの一杯やな、「つれ」と釣りの評価まじえながら。

ひちゃん：テレビでしてるCM(ソルマック・イブクロ・森三中)の『釣りバカ日誌のスーさんとハマちゃん』みたいですね、でも師匠、ハマちゃんみたいに海に飛び込まないでくださいね。それに飲みすぎにも。(まー、ソルマックがあるか!)





編 集 後 記



極暑の続く季節になりました、組合員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

最近の建築業界のキーワードは「環境」・「エネルギー」・「経済的」、とくに設備においてはエネルギーの進歩が目立っています、それはオール電化から始まり現在では様々な電気・給湯・空調のシステムが混在しております、これは建築業において、設備業界や電気業界にとって追い風になるに違いありません、皆様も日頃の勉強を怠らずビジネスチャンスとして認識していただきたいと思えます。

高速道路の通行料金割引がはじまり、一般利用者にとっては喜ばしいことですが、休日の高速道路は大渋滞になっています、一部の運送業界では大反対のようです、また割引分の費用は私たちの税金から日本高速道路の各社に支払われるのですから、喜んではられません、いっ

たい最終的にはどれだけの金額が補填されるのでしょうか？ この他にもいくつかの税金補填の政策がありますが、私たち会社なら金額の予想できない出費なんて恐ろしくて考えられません。

最近の政治動向は大変危険な状態のように思われます。

本誌では第63回の通常総会のご報告を掲載させて頂きました、当組合は昭和21年に創立いたしまして今日まで、多くの組合員様と共に役目を果たしてまいりました、組合員数の減少の内でも、最近新しく起業された事業所や、2代目、3代目と継承されている事業所が多くなってきております、変わりない皆様のご協力をお願いいたします。

新規事業もてがけ、これからも業界と地域への貢献を第一と考え、躍進してまいりたいと思います。

編集委員一同

■組合だより 紀の水

●発行  和歌山市管工事業協同組合

理事長 小 向 俊 和

●編 集 紀の水編集委員会

〒640-8251 和歌山市南中間町12

TEL(073)436-6801

FAX(073)436-6804

URL <http://www.w-kankoji.com>

E-mail:wakayama@w-kankoji.com